

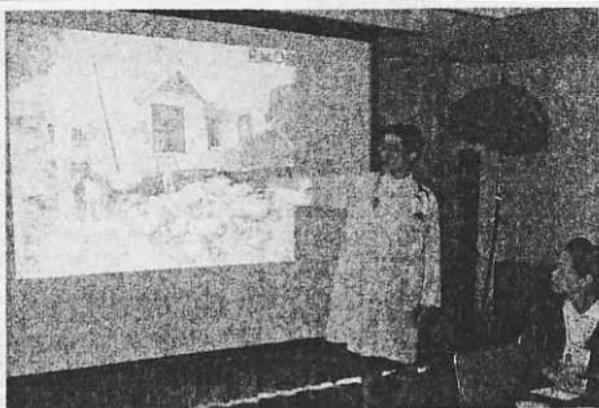
沖震  
トラ  
スマ  
地

# 医薬品や人員不足訴え

## AMDA 支援の2人帰国会見

インドネシアのスマトラ島沖地震で大きな被害を受けた同国。パリアマンで支援活動を行っていた国際医療NGO「AMDA(アムダ)」(本部・岡山市北区)の津曲兼司医師(52)と光島宏美調整員(31)が9日、岡山市内で記者会見し、現地の惨状を写真で紹介しながら医薬品や人員の不足を訴えた。

ど計3か所で計約330人を診療した。現地では民家の倒壊が激しく、粉じんや目の痛みやせきを訴えたり、熱や感染性の腸疾患などで脱水症状に陥ったりした人が多かったといい、2人は「周辺部では特に医療品も人員も足りない」などと話していた。



被災地の惨状を説明する津曲医師(左)と光島調整員(岡山市内)

2人は、本部から派遣し